

「病 院」 第 52 巻 総目次

1993 年 (第 1 号～第 12 号)

() 内数字は号数, 数字は通巻頁数

特 集

● 地域づくりのために病院に何ができるか——(1)

[てい談] 地域づくりのために病院に何ができるか	
……………今井 澄・浜村明德・河北博文	18
これからの都市機能と病院	……………萩田秋雄 26
地域づくりの実践	

ウエルパークヒルズ計画	……………冷牟田千年 32
日南病院と地域づくり	……………安東良博 36
保健・医療・福祉を中心課題に据えたわが町づくり	……………斎藤 貢 40
六甲アイランドの街づくりと病院	……………伊藤安生 42
最近の海外の病院の構造と機能	
アメリカにおける病院構造の変化	……………中山茂樹 46
ヨーロッパ, カナダの病院	……………長澤 泰 49
東南アジアの医療体制—タイを中心に	……………中島 護 53
高齢者向け住宅と生活サービスの接近の姿	……………五代正哉 56

● 週休 2 日制実行のためのポイント——(2)

労働時間短縮への流れと, 国立病院における	
週休 2 日制導入の経過	……………丸田和夫 108
なぜ週休 2 日制が必要なのか	……………山中直樹 110
病院経営における労働時間短縮のポイント	……………長谷川武 114
民間病院における週休 2 日制, 時短への取り組み	
週休 1 日, 半ドンなしから一気に完全週休 2 日制へ	……………浅田俊勝 118
経営トップの決断とリーダーシップの発揮がカギ	……………儀間朝徳 122
完全週休 2 日制から 4 週 6 休へそして再び	
完全週休 2 日制へ	……………海老原浩志 126
全人医療実践のための職場づくり	……………柴田康弘 130
[インタビュー] サービスの質を落とさずに労働時間の短縮をはかる法—富士屋ホテルチェーン総支配人・	
山口祐司氏に聞く	……………山口祐司・黒田幸男 141
データでみる週休 2 日制の実施状況—全国自治体病院協議	
会/日本看護協会/京都私立病院協会/日本赤十字社/全国厚生農業協同組合連合会/労働福祉事業団/私立医科大学病院	
看護部長会議	……………米田啓二・奥村元子ほか
週休 2 日制実施に伴い就業規則をどう変えるか	……………酒井 武 148

「週休 2 日制」看護からの発言

看護管理者は不勉強で怠慢か—勤務体制を	
硬直化させているのは	……………高橋美智 150
看護部が主体性をもって取り組むために	……………門田邦代 156

● どうする中小病院——(3)

わが国における私的中小病院の「これまで」と	
「これから」	……………川淵孝一 204
有床診療所と中小病院	……………犬尾博治 211
これからの中小病院はどうするのか	
単科の小病院で最高水準の医療を提供	……………大橋正實 214
医療に恵まれない山陰過疎地の病院	……………藤田英輔 216

保険外収益の増加で病院を建て替える	……………梶原 優 220
愛とまごころをもって地域医療に専念	……………清水英範 222
安心して死ねる町づくり	……………森 俊介 224
国保直診病院の現況	……………山口 昇 227

[座談会] 岐路に立つ中小病院

……………松本文六・佐藤真杉・中 佳一・今井重信	232
--------------------------	-----

● 外来のあり方を問う—大病院志向の流れは

変えられるか——(4)

特定機能病院における外来のあり方	……………大道 久 296
自らの理念に向けての病院経営を! —大規模総合病院の	
立場から	……………頼本節雄 299
紹介外来のみの診療を頑に守り続けて—開放型病院の	
立場から	……………富永忠弘 302
病診連携の実施で患者の流れに変化が—開業医として	
杉並地域医療システムに参加して	……………加藤 毅 306
病診の連携を阻むもの—若手開業医の立場から	
……………新田國夫	309

外来受診患者の動向—最近 15 年の統計から

……………信川益明・高木 泰・原 哲夫	313
---------------------	-----

米国にみる入院から外来へのシフト

……………岡本悦司	318
-----------	-----

[座談会] 大病院志向の流れは変えられるか

……………篠崎英夫・阿曾弘一・小林之誠・岩崎 榮 322

● 社会からみた医療の質の評価——(5)

[座談会] 医療の質の評価をめぐる

……………福島雅典・北原光夫・辻本好子・河北博文	386
医療のテクノロジー・アセスメント	……………久繁哲徳 394
医療の質の科学的評価とその歩み	……………郡司篤晃 402
患者が望む医療のあり方	……………星野一正 406
医療の質の向上と経済的裏付け	……………池田俊也・池上直己 410
医療関連サービスからみた医療の質の評価	……………矢野 聡 414
他産業の品質評価	……………師岡孝次 420

● 看護の質に何を期待するか——(6)

[座談会] マグネット・ホスピタルへの道

……………栗屋典子・川島みどり・山崎 絆・大道 久	482
---------------------------	-----

高機能地域中核病院長からみた看護の質とその評価

……………小山田恵	491
-----------	-----

チーム医療に対応し得る看護組織の変革を—

民間病院院長・短大学長の立場から	……………井手道雄 494
------------------	---------------

「診療の補助」と「療養上の世話」—外科医として

看護の質に期待するもの	……………有賀 徹 497
-------------	---------------

日本には看護の質を論じられる病院がいくつある

だろうか—循環器内科医がみた看護の現状と	
----------------------	--

打開のための一私案	……………石村孝夫 500
-----------	---------------

救急看護をモデルとした質向上への提言

……………高橋章子	502
-----------	-----

「患者中心」の理念の追求を通して—北里大学病院での

実践と今後の課題	……………花井恵子 506
----------	---------------

失敗例を通して老人看護の質を考える

……………川島和代	509
-----------	-----

看護を「買っていただく」立場から

……………村松静子	512
-----------	-----

神戸市中央市民病院にみる看護組織の強化策と

将来構想	……………大町信子 515
------	---------------

小規模民間病院で院内教育の充実をめざす	菊地ツヤ子	519
● 病院のダウンサイジング		(7)
病院のダウンサイジングとは何か	濃沼信夫	578
我が国の今後の病院病床数のあり方と医療計画	遠藤 明	583
最近の施設計画にみるダウンサイジングの方向	河口 豊	592
病院のダウンサイジングの事例		598
病院の質的变化と病床減少	猪口雄二	
財団法人磐城済世会における病床の ダウンサイジング	松村耕三	
「らしさ」を出すためのダウンサイジング	服部外志之	
東京銀座の救急中小病院	湖山泰成	
結核病棟を減床	中村 覚	
私がダウンサイズしなかった理由	日野頌三	
[座談会] 今なぜ病院のダウンサイジングか		
	竹田 秀・伊藤誠二・今田寛睦・竹内 實	607
● いまトップに求められる能力とは		(8)
現代が求める病院管理者像		
国立病院を運営する立場から	丸山和夫	668
都立病院を運営する立場から	樋口正明	670
病院経営への融資を通して	古市圭治	673
病院管理者教育機関の立場から	北川定謙	676
研究者の立場から	一条勝夫	679
公私両方の病院長を経験して	廣田耕三	682
国立病院看護部長経験者の目からみて	武藤美知	685
民間病院総婦長の目からみて	星野陽子	687
民間病院事務長の立場から	田中 熙	691
病院のトップはどのようにして選ばれるか	伊賀六一	694
チェーン病院では院長をどう評価しているか		
	中村哲夫	697
病院経営の専門職を考える	大道 久	699
企業経営者の能力	奥村昭博	702
[てい談] 変革期における経営者の決断		
	浅田栄一・亀田俊忠・井手義雄	706
● 病院の医療費体系をどうする		(9)
ホスピタルフィーとドクターフィーの分離	広井良典	762
長期療養の医療費	柴田高志・大熊正喜	767
精神病院における入院医療費	津久江一郎	772
病院の外来医療費	白方誠彌	780
病院における特定医療費	幸田正孝	784
医療費の地域差	西村周三	789
[対談] 病院の医療費体系の現状と将来		
	島田恒治・河北博文	792
● 診療記録と情報管理		(10)
[インタビュー] 病院情報システムは病院に何を もたらすか—情報化時代の新しい病院像を求めて		
	開原成允・岩崎 榮	856
診療記録の電子化—その現状と将来	里村洋一	864
東海大学病院にみる診療録管理の実際	鈴木荘太郎	869
新聖路加国際病院の開院後1年、診療録管理業務は どう変わったか	鳥羽克子	874

光ディスクを用いた電子ファイリングシステムの 現状と将来展望	山内一信	878
市中病院におけるオーダリングシステムの運用と情報の活用		
静岡県立総合病院の医療情報システム	鍋木恒男	
小島紘一・中島俊明・河原崎貴伯・足立敏栄		882
日鋼記念病院総合情報システムTHINK-1		
	西村昭男	888
調査からみたトータルオーダリングシステム導入の 現状と問題点	寛 淳夫	892
ICD-9 からICD-10 へ	河合誠義	895
● 病院の長期療養サービス		(11)
人はどこで亡くなるのが最も幸せか		
新潟県大和町における「死に場所づくり」	斎藤芳雄	950
死の看とりと長期療養の場の課題	山崎摩耶	954
患者の重症化と入院の長期化		
救急医学の立場からみた患者の重症化と入院の 長期化	益子邦洋	958
長期入院患者の疾病構成	三宅祥三	962
長期療養と病院経営	天本 宏	968
在宅ケアと病院の長期療養サービス		
佐久総合病院における在宅ケア活動	井 益雄	974
福岡県および三野原病院における老人訪問看護 ステーションの現状	三野原厚・藤澤智恵美	978
京都南病院における在宅ケアと長期療養サービス		
	三上勝利	982
在宅医療サービスの互酬制を求めて	辻彼南雄	985
民間在宅ケアサービスの実際	馬袋秀男	988
熊谷市の訪問看護事業		
	山崎望人・冠木徹彦・佐川尚夫	993
療養型病床群の今後の展望	竹川節男	996
ケアミックスの現状と将来	小林武彦	999
● 第3次医療法改正はどうか		(12)
[てい談] 次期医療法改正への課題—医療人としての 対応を考える	坪井栄孝・河北博文・紀伊國献三	1052
病院像の変化—求められる新たな病院像	大道 久	1061
医療法人制度のゆくえ	宮坂昌利	1065
臨床研修指定病院のゆくえ		
	今中孝信・八田和大・小泉俊三・楠川禮造	1069
民間中小病院のゆくえ		
地域密着型内科系病院として—札幌・西岡病院		
	西澤寛俊	1072
基本的に変えるものは何もないし、変えようもない 一枚方・佐藤病院	佐藤真杉	1074
救急医療を主とする脳外科専門病院として—熊谷・ 関東脳神経外科病院	清水庸夫	1077
医療環境の変化をどうとらえ専門病院としてどう 対応していくか—別府・野口病院	野口志郎	1081
小児専門病院に未来はあるか—大阪・中野 こども病院	中野博光	1085
大腸肛門疾患の診療に専門特化—福岡・福岡高野病院		
	高野正博	1089
中小一般病院と第3次医療法改正—「地域医療」 からの発想	今井重信	1092

[提言] 地域中小病院に求められる“前線を支える” 病診連携	小野重五郎 1097
---	------------

グラフ

地域に密着した手作り医療を展開する一諏訪中央病院	9 (1)
地域中核病院としての可能性を模索する一黒部市民病院の 歩みとこれからの課題	99 (2)
限られた資源を活かし包括医療を展開一日南町国民 健康保険日南病院	195 (3)
インテリジェント・ホスピタルを目指す一横浜労災病院	287 (4)
長岡西病院を開院し新たな発展段階に入った一長岡医療と 福祉の里	377 (5)
21世紀に向けてのトータル医療の実現を図る一医療法人 近森会 近森病院・近森リハビリテーション病院...	473 (6)
ぬくもりと思いやりのある医療をめざす一公立松任 石川中央病院	569 (7)
公立病院としてひとつのあり方を示す一藤沢市民病院	660 (8)
天草地域の保健医療を推進する一天草郡市医師会立 天草地域医療センター・苓北医師会病院	753 (9)
開院以来 70 年間地域住民の信頼に応える一財団法人 倉敷中央病院	847 (10)
あたたかみのある高度医療を目指して開院した一 山形県立日本海病院	941 (11)
アメニティを重視し「医やす院」の伝統を 21 世紀に 継承一順天堂大学附属順天堂医院本館	1043 (12)

人

小山田恵・第 43 回日本病院学会会長.....本宿 尚	16 (1)
小島通代・東大病院看護部長から東大教授に	106 (2)
澤村誠志・兵庫県立リハビリテーション中央病院院長	202 (3)
小山昌正・第 33 回全国国保地域医療学会会長	294 (4)
荒井蝶子・第 31 回日本病院管理学会で初の 女性学会会長を務める	384 (5)
前川 隆・第 48 回国立病院療養所総合医学会会長	480 (6)
安住矩子・厚生省看護研修研究センター所長	576 (7)
井部俊子・聖路加国際病院の看護部長、副院長に就任	666 (8)
吉田雅子・日本医療社会事業協会会長	760 (9)
尾形悦郎・癌研究会附属病院院長に就任	854 (10)
高久史磨・国立国際医療センター総長	948 (11)
杉村 巖・総合病院旭川厚生病院院長	1050 (12)

主張

外来機能の見直しを	17 (1)
人材の集まる病院づくり	107 (2)
病院における長期療養サービスの行方	203 (3)

長引く景気の停滞と病院経営	295 (4)
入院医療の質の評価が必要	385 (5)
新しい時代に見合う看護教育の展開を	481 (6)
5 つ星病院出でよ	577 (7)
医療への社会的投資	667 (8)
次に求められる施設機能の体系化とは何か	761 (9)
病院経営情報の効果的な運用を	855 (10)
病院給食論議	949 (11)
在院日数から病院機能をみる	1051 (12)

特別寄稿

インフォームド・コンセントの実践とその必要性	山中直樹 240 (3)
淘汰の時代に入った民間病院	滝上宗次郎 330 (4)
「地域医療」一とくにへき地医療の現状を問う	三木知博・他 436 (5)
英国のナースিংホームにおけるケアの クオリティアシュアランス	荒井由美子 525 (6)
MRI(磁気共鳴装置)導入・利用の日米比較(1)	二木 立 1004 (11)
医療パラダイムの形成と脳死社会 [その 1] ー 脳死概念を中心に	秋葉 聰 1009 (11)
MRI(磁気共鳴装置)導入・利用の日米比較(2)	二木 立 1101 (12)
医療パラダイムの形成と脳死社会 [その 2] ー 脳死社会アメリカの実像	秋葉 聰 1106 (12)

トピックス/インタビュー/ふぉーらむ

24 時間体制の保育施設が発足一倉敷市・倉敷中央病院 院内の企業委託型保育園	165 (2)
へき地へ代診医を派遣する拠点病院が発足一社団法人 地域医療振興協会・吉新通康理事長に聞く	252 (3)
民間病院はこれでよいのか・1	334 (4)
医療法改正と民間病院 大道 久 民間病院に求められる機能と質 岩崎 榮	
民間病院はこれでよいのか・2	426 (5)
病院機能分化と民間病院 河北博文 診療報酬改定および地域医療と民間病院 竹内 實	
医療の将来像と民間病院 紀伊國献三	
HIV 感染者への医療者の対応一東京都立駒込病院・根岸昌功 医長に聞く	616 (7)
5 年ぶりに改正された精神保健法 広田伊蘇夫	908 (10)
21 世紀に存立し得る病院をつくる一石井昌三順天堂 大学学長に聞く	1111 (12)

ケースレポート/研究と報告

電動ベッドの使用による寝たきり予防の効果に関する 研究	鎌田ケイ子・他 246 (3)
中規模病院における分散処理システムの試み	渡辺博康・畑田和男 443 (5)
看護業務の見直しと看護体制の検討	花井美恵子・塩谷 浩 522 (6)
病院図書室のコンピュータ利用はどの程度普及しているか	野原千鶴・奈良岡功 529 (6)

臨床医のためのコンピューターによる患者管理

.....小野隆男・他	613 (7)
病院貸与の奨学金を考えよう.....倉田トシ子・他	820 (9)
差額ベッド規制緩和は病院経営にどう影響しているか.....	903 (10)
全国初の承認施設—公立陶生病院	西山郁夫
全国初の民間承認施設	内田英一

現代病院長論

病院経営 25 年の経験から.....伊藤 研	798 (9)
公立病院の院長 20 年間の経験から病院経営の 理念を考える.....寺田 守	898 (10)

建築と設備

東京歯科大学市川総合病院.....神代 豊・郡 明宏	63 (1)
厚生中央病院古川謙一・村田幸一・内田昌文・菅家忠佐・塩崎静雄	159 (2)
フィンランドの医療・保健施設.....伊藤 誠	256 (3)
兵庫県立リハビリテーション中央病院.....黒田達雄	343 (4)
宗像水光会総合病院.....友清貴和	448 (5)
国立がんセンター東病院厚生省保健医療局国立病院部	533 (6)
ホスピス 3 題.....高野重文・奥田順二・岡本 勉	623 (7)
桐生厚生総合病院.....前島 滋・栗山栄作	715 (8)
中規模地域中核病院—山梨赤十字病院・長野県立木曽病院岡野 覚・袖山公靖	807 (9)
アメリカの高齢者施設.....長澤 泰	911 (10)
岩手県立宮古病院.....大野 勝・松重宏和	1021 (11)

退院計画—病院に求められる新しい機能

退院計画の概念と内容—米国での展開を中心に手島隆久・中谷陽明	722 (8)
対象者のスクリーニング.....田中千枝子	816 (9)
退院計画におけるソーシャルワーク援助の実態—その過程と 援助技術.....高田玲子	916 (10)
退院計画におけるソーシャルワーク援助の実態渡辺姿保子	1016 (11)
退院援助からケースマネジメントの展開 中村雪江	1115 (12)

看護業務改善事例集

看護省力化機器を夜間看護業務に取り入れて岡部純子	75 (1)
現場での自主性を重んじた業務改善の成果.....畠中智代	169 (2)
看護業務改善が私たちにもたらしたもの.....渡辺孝子	351 (4)
看護 1 号紙の活用による業務改善.....田岡キヌ子・他	495 (5)
公立富岡総合病院の「助勤」システム.....青木孝子	547 (6)
当院における看護業務改善のプロセスと成果鈴木小津江	630 (7)
採尿蓄量比重測定装置を導入して島田陽子・鈴木妙子・中村礼子	727 (8)
クラークを導入して思うこと.....一本木節子・佐伯幸子	830 (9)
搬送カート導入による注射薬準備業務の改善島田陽子・鈴木妙子・高橋弘充・中村礼子	927 (10)

厚生行政展望 (厚生行政研究会)

[新春拡大座談会 '93] 今年の厚生行政を展望する.....	70 (1)
第 3 次医療法改正の危機.....	176 (2)
医療のキャピタルコスト.....	264 (3)
診療報酬点数の改定(上).....	354 (4)
診療報酬点数の改定(下).....	456 (5)
学会認定医の公認と広告をめぐる.....	539 (6)
「診療報酬のあり方」日医報告書(上).....	633 (7)
「診療報酬のあり方」日医報告書(下).....	730 (8)
政権交代と厚生行政.....	826 (9)
国際化時代に期待される病院の変化.....	920 (10)
医療活動とコココーラ・ライン.....	1030 (11)
[拡大座談会 '93] 今年を振り返って.....	1120 (12)

病院経営Q&A (川瀬孝一)

病院のマネジメント.....	86 (1)
公式組織と非公式組織.....	172 (2)
マーケティングと病院経営.....	274 (3)
マーケティングの方法.....	356 (4)
適正人員の算出.....	542 (6)
動機づけ.....	636 (7)
看護婦の引き止め戦略.....	732 (8)
モノのマネジメント.....	828 (9)
待ち時間の解消法.....	924 (10)
帳票管理.....	1027 (11)
予算編成.....	1125 (12)

副院長考

国立病院の副院長の経験から.....高橋隆一	78 (1)
病院の理念を身をもって示すプレーイングマネジャー として—医療法人病院の立場から.....安田隆義	178 (2)
院長の管理代行役を越えて病院の運営に当たる— 岐路に立つ私立精神病院の経営.....丸山弘毅	360 (4)
日頃思っていること—脳神経外科、単科の病院の 立場から.....川口 進	552 (6)
病院管理運営面では扇の要.....正木秀人	648 (7)
政策医療の担い手としての国立精神療養所の あり方を考える.....滝沢韶一	736 (8)
院長の補佐として経営を支えるが、医療スタッフの 一員でもある.....石原 哲	834 (9)
経営管理部門に専念する事務長出身の副院長広川 敢	922 (10)
看護部長兼務副院長のパイオニアとして.....石垣靖子	1128 (12)

病院管理フォーラム

[診療録管理]	
診療録管理部門の人と組織.....木村 明	80 (1)
管理スペースの確保と管理業務.....木村 明	180 (2)
診療管理部門の設備と備品.....木村 明	266 (3)
画像検査記録のデータ処理とその管理.....木村 明	362 (4)
診療記録の情報化.....木村 明	554 (6)
診療情報の精度管理の基本.....木村 明	640 (7)
[臨床工学技士]	

血液透析	江良和雄	82 (1)
血液透析II—拡大する臨床工学技士の役割	江良和雄	182 (2)
高気圧酸素治療	西山博司	268 (3)
ICUと臨床工学技士—モニタリングと機器管理		
	小野哲章	364 (4)
ICUにおける呼吸管理	原 直哉	556 (6)
機器の中央管理	埋田辰夫	642 (7)
人工心肺技士の現状と問題点	武田正則	738 (8)
[放射線]		
待ち時間に思いをはせて	宮内兼義	84 (1)
検査の後に「どうだったでしょうか」	宮内兼義	184 (2)
『おまえ何様だと思ってるんだ』	宮内兼義	270 (3)

病院アメニティの改善

病院アメニティの三本柱	根岸宏邦	272 (3)
ハード面とソフト面でバランスのとれたアメニティの 向上を—小林記念病院	小林武彦・杉浦春彦	462 (5)
明るい玄関棟を新築しイメージアップ—中島病院		
	中島洋一	646 (7)

看護管理用語解説

看護における質の保証	草刈淳子	559 (6)
PPC方式＝段階的看護ケア方式	高橋美智	740 (8)

MSWの相談窓口から

「北の国から」'93 冬—地域相談より	油谷香織	89 (1)
パリアティブケアにおけるMSW	田村里子	168 (2)
どんなときも	国分洋佳	263 (3)
緑のおばさんに関する—考案—ボランティアとMSW		
	室谷智子	366 (4)
在宅医療	田村里子	425 (5)

親愛なる者へ—遺族の茶話会によせて	寺田 香	546 (6)
北里大学病院総合相談部におけるMSW	堀越由起子	742 (8)
「外国人」とかわるMSWの視点	取出涼子	836 (9)
大学病院で出会う児童虐待	法 由美子	930 (10)

麻酔医が往く (後明郎男)

手術室を出た麻酔医	85 (1)
がん終末期医療と麻酔医	185 (2)
蘇生術と麻酔医	271 (3)
人工呼吸器と麻酔医	367 (4)
看護部と麻酔医	455 (5)
ICUと麻酔医	558 (6)
薬剤部と麻酔医	622 (7)
地域医療と麻酔医	726 (8)
主治医と麻酔医	825 (9)

老健Now (小山秀夫)

老健施設は日々進化している	550 (6)
老健施設は質が勝負	644 (7)
モデル老健施設の今	734 (8)
最適ケアプラン作成への挑戦	832 (9)
社会福祉法人独立型の経営	1032 (11)
老健施設の複合施設化	1130 (12)

☆海外医療情報 二木 立 251 (3), 342 (4), 672 (8), 675 (8), 690 (8), 693 (8), 714 (8)

☆書評と紹介 田中慶司 129 (2), 米永まち子 171 (2), 岩井くに 226 (3), 青山英康 308 (4), 清水嘉与子 696 (8), 目時弘文 806 (9), 竹田 秀 910 (10), 二木 立 931 (10), 二木 立 998 (11)

総合診療誌 JIM vol. 4 No. 1 12月末発行

1,751 円(税込)

特集 失敗例から学ぶ 日常医薬品の上手な使い方(1)

Editorial/医薬品を有効、安全に使うには	国立東京第二病院	高橋 隆一
日常医薬品の使用の基本原則	国立国際医療センター臨床薬理	越前 宏俊
強心薬	日本大学駿河台病院内科	久代登志男
抗不整脈薬	天理よろづ相談所病院循環器内科	伊賀 幹二
狭心症治療薬	国立長崎中央病院内科	江崎 宏典
降圧薬	金井医院	金井 美津
利尿薬	前田病院内科	前田 利朗
抗高脂血症薬	金沢大学第二内科	小泉 順二
抗血小板薬	慶応大学中央臨床検査部	渡辺 清明
造血薬	三井記念病院内科	天野 正道
抗不安薬、睡眠薬	多摩総合精神保健センター	斎藤 昌
NSAIDs	田園調布中央病院内科	富井 正邦
癌性疼痛におけるモルヒネ投与方法	日本大学板橋病院麻酔科	白土 辰子
抗うつ薬	広島大学精神神経科	本橋 伸高
抗けいれん薬	太田熱海病院脳神経センター	山根 清美
抗アレルギー薬、抗ヒスタミン薬	同愛記念病院アレルギー呼吸器科	佐野 康之
Key Articles		高橋 隆一

・失敗例や問題例を挙げて、日常医薬品の有効・安全な使い方をアドバイスします。

〒113-91 東京都文京区本郷 5-24-3 電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5716 FAX (03) 3815-7802

病院 52 巻 12 号 1993 年 12 月

(5)